

電気通信大学オープンキャンパス

キャリア教育説明会

国立理工系大学でトップクラスと自負する、本学の先進的キャリア教育の基本的な考え方や具体的な進め方について、ご紹介します。



主として保護者の皆様への説明会ですが、
受験生の聴講も歓迎します！



【日時】2013年7月14日(日)11:30~12:30 【会場】B棟202教室

電気通信大学 キャリア教育 説明会 (主として保護者対象)

日時：7月14日(日) 11:30~12:30
 会場：東地区 B棟202教室
 共通教育部 キャリア教育部会
 特任教授 竹内利明

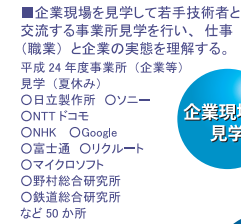
本学キャリア教育の目的

将来の職業について考え、目標を具体化する努力の必要性に気づかせ、社会に広く目を向けさせる。結果、大学教育の意義を再認識させ、勉学意欲を増進し教育効果を高める。

本学キャリア教育の概要

理工系国立大学の先陣を切り2005年度にスタートして、今年で9年目を迎えた。その間、文部科学省特別教育研究経費、就業力G.P.、産業界のニーズG.P.に連続採択という高い評価を受けて発展してきた。

学生は人生において初めて真剣にキャリアデザインを考える機会となる。そこで、産業界OBを特任講師として採用して、きめ細かく支援する体制を構築している。2013年度から1年生と3年生が同じ教室で学び、チームを組み相互に啓発しながらプロジェクト活動に取り組む「キャリア教育演習及びリーダー」を必修科目として開講した。



■産業界で活躍する社会人講師の講義から産業界から求められる人材像を学び理解する。
 平成24年度社会人講師の講義実績
 ○ソニー ○日立製作所 ○リクルート ○NTTドコモなど

■企業現場を見学して若手技術者と交流する事業所見学を行い、仕事(職業)と企業の実態を理解する。
 平成24年度事業所(企業等)見学(夏休み)
 ○日立製作所 ○ソニー ○NTTドコモ ○NHK ○Google ○富士通 ○リクルート ○マイクロソフト ○野村総合研究所 ○鉄道総合研究所 など50か所

■実体験により勤労観、職業観を養うために、自発的にインターンシップに参加する学生が増えることを目指す。
 平成24年度インターンシップ実績
 ○日本電信電話 ○日本電気 ○日本発条 ○横河電機 ○アパックス ○ソフトブレーン ○消防庁消防研究センターなど

■自己理解のために職業適性や性格テストなどを行い、自己の個性(長所・短所)、強み、才能、価値観の理解に努める。
 ○職務適性テスト ○国際規定に基づく性格検査 MBTI

■1年生と3年生の学年横断演習や2年生が少人数グループディスカッションを繰り返す。自ら課題を提起し、その解決に取り組み、結果を発表することで、課題発見力、リーダーシップ、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を高める。

平成25年度 主なキャリア教育科目

「電気通信大学キャリア教育」検索 click
<http://www.sangaku.uec.ac.jp/link/career.html>
 「工学研究」事例報告、ペナッセVIEW21などの記事を読むことができます。

必修のキャリア教育科目	
キャリア教育演習 1年生(1~2学期)	1年生とキャリア教育演習リーダーとして履修する3年生が協力して行う学年横断型のPBL型演習。自らテーマや課題を設定すること、そしてその達成を目指したチーム活動を通じて、コミュニケーション力と問題解決力、自己管理能力、チームワーク等を体験的に学ぶ。
キャリア教育演習 リーダー 3年生(1~2学期)	3年生は、リーダーシップの基礎を学び、1年生への助言等を通じて報告・連絡・相談の重要性と支援方法を学び、活動成果の発表や報告書のとりまとめなど、コミュニケーションについて総合的に学ぶ。
主な選択必修のキャリア教育科目(1,2年次)	
電気通信大学概論 1年生(1学期)	母校について学び、理解し、大学で何を学ぶのか考える。社会で活躍する先輩の講義、社会の仕組み等を学び、企業を見学して若い先輩社員と交流して、将来の職業を含む人生のビジョンを考える。
キャリアデザインⅠ 2年生(3学期)	自己理解を深め、大学で獲得する専門性について考え、将来の職業を含む人生のビジョン(なりた姿)を考える。その結果をキャリアデザインマップで見える化(可視化)する。
キャリアデザインⅡ 2年生(4学期)	国際規定に基づく性格検査MBTIを用いて自己理解を深め、発想能力の開発に継続的に取り組み、ディベート実践を通じてコミュニケーション力とともに、考える力、チームワーク等を含む「社会人基礎力」の総合的な向上を目指す。

学生がキャリアデザインを考えるステップ

1. 大学生生活に慣れる

1年生は3年生から生活習慣、履修、勉学姿勢などについてアドバイスを受けることで、入学直後の不安な気持ちを和らげて、新しい環境での修学に踏み出す効果が期待できる。

2. 大学での学びを考える

- ① 大学院オープンラボ(6月5日)で、学内の研究室を調査・見学する
- ② 大学4年間(または大学院)で、自ら獲得する専門性を考える。
- ③ 当日3つ以上の研究室を見学することで、既に関心のある分野の理解を深めると共に、新たな発見を通じて興味の幅を広げる。

3. 将来の職業を考える

自らの価値観や関心、強みなどがある程度理解したうえで、大学で獲得する専門性をおぼろげながらも描けると、その延長に自ら関心ある職業が見えてくる。⇒9月に企業等の事業所見学を実施

1年生(初回授業)ガイダンス概要

1. 自己責任社会を認識する

- ①大学生は大人! ②生徒と学生の違い? ③学ぶ意欲が前提

2. 大学生生活に慣れる

- ①規則正しい生活習慣、②社会人の基本、③友達作り

3. 大学受験という目標は達成(電通大に合格)した意味は、

4. なぜ、目標が必要なのか?

5. 自己理解と他者との関係構築(自己理解には努力が必要)

- ①自らの価値観、興味、関心、強みを理解する。
- ②家族、恩師、友人、先輩、後輩などにどのように見えているのか?
- ③コミュニケーションの基本を身につける(敬意、傾聴等)
- ④他者との関係構築、他者の価値観や意見の違い→多様性理解

6. 就職活動が大きく変化

1年次から目標を持ち真剣に大学教育に取り組めば、どのような職業に就くことも、どのような企業に就職できる可能性もあると考える。

7. 学業成績と就職の関係

理工系では大学の成績と就職に大きな相関がある。

8. 自らの人生の方向性を考える重要な時期

平成24年度事業所見学実績(48社50回1287名参加)

GEヘルスケア・ジャパン(株) 15	三菱マテリアル(株) 20
富士通(株) 40	(株)リコー 38
(株)KDDI研究所 29	古河電気工業(株) 37
ソニー(株) 40	(独)中小企業基盤整備機構 30
シスコシステムズ(株) 30	グループ(株) 19
キャノン(株) 30	経済産業省 特許庁(通常見学) 28
(株)オービックビジネスコンсалタント 28	経済産業省 特許庁(公務員志望者) 10
トッパンフォームズ(株) 18	富士電機(株) 30
トッパンフォームズ(株) 13	(株)オプトエレクトロニクス 33
大日本印刷(株) 39	(株)野村総合研究所 30
(株)在原製作所 17	日本ユニシス(株) 19
東芝ソリューション(株) 20	(株)NTTドコモ 38
ケンコーコム(株) 8	住友電気工業(株) 19
アクセントチャ(株) 30	NHK 30
(株)アマダ 18	(株)日立国際電気 29
(株)日本経済新聞社 19	(独)製品評価技術基盤機構NITE 20
日本マイクロソフト(株) 39	(株)リクルート 20
多摩信用金庫 15	(株)エフエム東京 30
横河電機(株) 38	(株)メディアグローバルリンクス 10
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 25	三好内外国際特許事務所 19
(独)産業技術総合研究所 19	(株)日立製作所 20
アシレント・テクノロジーインターナショナル(株) 13	三菱東京UFJ銀行 40
(株)村田製作所 24	(株)安川電機 32
日本電気(株) 40	(株)電子工業(株) 24
	(公財)鉄道総合技術研究所 37

本学独自の「教育ボランティア制度」

電気通信大学が8年前に始めた他にはないシステム



特任講師
 平均年齢：66歳
 65名(女性4名含む)
 産業界での経験が豊富な人材を特任講師として採用してキャリア教育を支援して頂いています。本学の卒業生に限らず、文科系出身の営業や人事の経験者もいて、熱心に指導に当たっています。

平成25年度は、特任教員6名、特任講師65名が担当
 キャリア教育演習は、40名の特任講師が毎週1年生10名、3年生10名を担当して、きめ細かく支援する体制を構築しています。

学習ポートフォリオシステムイメージ図

